

英語科菊井忠雄先生との交信記

2018年2月20日

懐かしい英語の授業

北野高校定時制 23 期 みつはし 三橋 えいいち 永一

53年振りの23期同期会へ・英語と菊井先生

ご無沙汰致しております。既に卒業以来半世紀以上になりましたが、55年前、北野高校定時制で菊井先生に英語を習った三橋と申します。

昨年、同22期の姉から、北野高校定時制の同窓会の話聞き、北辰会事務局に私の住所を連絡してくれた事から、コンタクトが始まりました。

昨年の11月20日に23期の同窓会に53年振りに初参加して、十三のガンコでの二次会に出席した折に、個々人の自己紹介がありました。その自己紹介の中で、既に73歳になっても、忘れられない、暗記している英語の教科書の一文を披露しました。

Patrick Henry(1776年) ※①“An appeal to arms” というタイトルが付いていますが、パトリック・ヘンリのアメリカ議会での冒頭演説(七つの海を支配する大英帝国から独立を訴える内容)を、拙い発音でスピーチしました。冒頭の文句は50数年経っても覚えていません。

菊井先生と言えば、私の一番の印象は授業の始まる前には、必ずシェックスピアのマクベスを語ってくれましたね！懐かしいです！

“山は人生の学校”

私事ですが、1999年3月末日で、少し早いですが、某商社を55歳で早期退職しました。少しの割り増しの退職金が出ましたので、学生時代からしたい事が二つ有りました。

その一つは、キリマンジャロ(5,895m)に登る事、二つ目はアメリカ留学でした。

サラリマン時代の鈍った身体を鍛える為に、退職した4月から鍛え直しました。

1999年8月13日アフリカ最高峰のキリマンジャロ・ウルフピーク登頂に成功しました。登る途中、高山病に悩まされ、お腹の中が空っぽに成る程、何度も嘔吐を繰り返しましたが、嘔吐する度に、私の身体は軽くなり、高度に順応して来ました。Gillmans point 5,695mで見た雄大な氷河の景色に圧倒され、一度に目が覚めました。最後の200m、後、2時間頑張れば、アフリカ大陸最高峰に到達出来ると思うと、元気が出て来て、登頂に成功しました。ツア仲間14名中、最高峰に登頂が出来たのは3名だけでした。

Kilimanjaro(スワヒリ語で輝く山)に登りたいと思った動機は、1960年代から始まったアフリカの独立運動のシンボルがキリマンジャロでした。山崎豊子さんの著書“沈まぬ太陽



“を読んで、一度は登って見たいと思い、チャレンジした次第です。※②

マーシャル州立大学の語学研修コース入学・パトリック・ヘンリーを求め

8月18日、キリマンジャロから帰国するや否や、アメリカ領事館から呼び出しがありました。かねてより、学生ビザ-を申請していたのですが、この年になっての学生ビザ-ですからネ！リストラで会社を早期退職したので、アメリカの大学に留学して勉強したい旨を説明すれば、直ぐにOKが出ました。

私の留学先は、ウエスト・バージニア州のハニトンに在るマーシャル州立大学の語学研修コース(半年間)で、世界中から若者が集まって来ていました。特にマーシャルを選んだのは、パトリック・ヘンリーの演説集を原文で読んで見たいと言う衝動で、マーシャルを選びました。9月1日から授業が始まりますので、8月29日に日本を出発しました。

授業は結構、厳しくて、毎日、毎日、小テストが有り、気が抜けませんでした。一週間も経ちますと、次第にアメリカ生活にも慣れて来まして、早速、図書館でパトリック・ヘンリーの演説内容が入った本を借りました。地下の倉庫で眠っていたのか・・・、ページを開けばボロボロになりそうでしたが、下宿に先に帰って、PCに書き写しました。冒頭の文句は、暗記するほど、刺激的な文章でした。

そんな素晴らしいSpeechを北野高校定時制課程の英語の教科書で学んだ事が、私の人生の生き方の原点であるように思えます。当時、私は、成績の良くない生徒だったと思いますが、菊井先生と言う素晴らしい先生に巡り合い、素敵な授業をして下さり、いまでもその感謝は忘れてはいません。本当にありがとうございました。

定年退職後の人生

マーシャルから帰国後、2000年2月から福井の織機メーカーに再就職で、10年間お世話になりまして、65歳でリタア-して、今日に至っています。

今は、私が住んでいる河内長野の南花台と言う地域で、老人会の会長をしています。家族運にも恵まれ、昨年、3女が亡くなりましたが、5人の子宝にも恵まれ、元気に暮らしています。北野高校定時制で学んだ事が無ければ、今日の私は無いと言っても過言ではないと思います。

シェクスピアの言葉を借りれば、「終わり良ければ全て良し・・・」「途中の栄華は問題ではない。最後まで目的を持って生きてこそ輝かしい人生です」こんな人生が歩めれば、良いナ-と思いながら、北野高校定時制で過ごした日々を懐かしく思い、菊井先生に感謝の意を伝えたくて連絡先を北辰会事務局に聞いた次第です。春の足音が聞こえるものの、まだまだ寒い日が続きます。くれぐれもご自愛下さい。ありがとうございました。

※① An appeal to arms

Mr.President, it is natural to man to indulge in the illusions of hope. We are apt to shut Our eyes against a painful truth, and listen to the song of that Siren till she transforms us into beasts.

.

Is life so dear, or peace so sweet, as to be purchased at price of chains and slavery?

Forbid it, Almighty God! I know not what course others may take; but as for me,
Give me liberty or give me death.

※②私の海外での登山歴

キリマンジャロ(5,895m)(タンザニア・1999年/8)・

キナバル(4,095m)(ボルネオ・2007年/11)・

アコンカグア(6,962m)(アルゼンチン/2011年/12・6000mでガイドストップ)・

玉山(3,950m)(台湾・2012年/11),

追記

私の人生哲学は“山は人生の学校”で、山で人生を学んだ事が多いです。
今も、老人会の一徳防登山クラブで、月に2回例会として、一徳防山に登っています。3
時間コースですが、Door to doorで登れるので、家から気軽に登れます

菊井先生からの返信

あなたの素晴らしい人生に、敬意の拍手を送りたいと思います。
本当に凄い人生ですね。私は教師冥利に尽きる思いで、読ませて頂きました。
北野高校定時制の頃は、大学を出てすぐの新卒の教師でした。
自分の知っていることを生徒諸君にひたすら語り掛けようとしていたと思います。唯々
一生懸命でした。